

## B-6 羊毛織物のセツト性について (剪断変形の場合2)

文化女大家政 小川安朗 O成瀬信子 橋本 綾

目的 被服の製作、着用に当って、織物の剪断変形は重要な機能である。今回は羊毛織物を剪断変形させて熱セツトを行ない、その時のセツト性を調べた。とくに剪断変形を織物の左右対称性の観点から検討した。

方法 パンピースおよびジョーゼットを試料とし、つかみ間隔を一定にして、左および右に平面的な剪断変形を行ない、一定のアイロン掛け条件で熱セツトする。一週間後の塑性変形をセツト角で示した。試料の剪断および引張りの回復曲線を求め、剪断変形のセツト性との関係を検討した。

結果 1. パンピースは平織でも各種の剪断性能が左右不対称である。2. ジョーゼットのようによね捻りとS捻りの糸が交互に織られた平織は、各種の剪断性能について、左右の差がなく、対称性がある。3. 織物は剪断変形のセツト性が大きい方向の剪断力、剪断仕事量、剪断 *loss energy* の方が、セツト性が小さい方向のこれらより大きい。